

満開のさくらが素敵な出会いを演出した



今年のさくらの開花は、早まりそうだとの予想のもとに、「江戸城お花見の会」を企画したところ、やはり予想通り東京では、3月24～25日から咲き始め、本番当日の3月30日は、まさに絶好のお花見日和となりました。

集合場所の平川橋そばの「太田道灌追慕の碑」まえには、参加者全員がびったり10:30には集まり、主催者としてたいへん気持ちのいいスタートが切れましたこと、感謝いたします。従って定刻通りに会は始まり、まず小竹理事長から追慕の碑の説明やごあいさつがあり、次に城内をご案内していただく東京シティガイドクラブの石川様から概略の説明をしていただいた後、石川様・北神様・長沢様それぞれ3名のガイドさん毎に3グループに分かれ、さくら咲く江戸城へと入城しました。

私たちと同じく、春を満喫しようとする人々で、城内は一年で最も混雑する様相を呈していました。天守閣へ続く登り口は、老若男女・海外からの観光客等でラッシュアワーの如く混雑。

そういった中、当会の3つのグループは、それぞれのガイドさんのたいへん丁寧に造詣深い説明に、時に550年前の太田道灌になり、また時に400年前の徳川家康になり、江戸城・江戸時代の話になるほどと納得しつつ、行程に従って江戸城の思ったより多くのさくらの花を觀賞しながら、歩を進めてゆきました。

参加人数は、5才のお子様からご高齢の方までたいへん幅広く、合計55名の方が江戸城内の春満開のさくらを楽しみました。

一番気になった天候も、当日はちょっと肌寒い陽気でしたが、私たちが平川門から入場し、大手門を出て楠公レストハウスに入るまでは、何とか会員の方々の日頃の心掛けの賜物か、雨に降られることはありませんでした。

最終地の「楠公レストハウス」には、約30余名の方々が参加され、ブッフエスタイルのランチを食べながら、同じ志を持つ会員同士の交流が盛んに行われ、今後の当会の発展にますます寄与するものと期待されます。

すべての予定が無事終了して、レストハウスを後にするころ、やさしい春の雨が地面を濡らし始めていました。

(事務局：三井記)

◆日 時：平成20年3月30日(日) 10:30集合

◆集合場所：皇居東御苑 平川橋そば、「太田道灌公追慕の碑」前

◆参加人数：55名(大人53、小人1、幼児1)

◆コース：平川橋(道灌公追慕の碑)10:45発—平川門—天守台—石室—富士見櫓—松の廊下跡—中雀門跡—同心番所—百人番所—大手門—和田倉噴水公園—12:30 楠公レストハウス(昼食・交流会) (14:15解散)

